

森下さち子ニュース

2018年(11月号)

市議員団ホームページ <http://jcpwkm.sakura.ne.jp/> TEL(435)1113

森下さち子のブログ「さっちゃんね〜♪」 <http://sachikogo.exblog.jp/>



秋もたけなわとなり、あちこちで紅葉が見ごろをむかえています。やっと暑さから解放されたと思いきや、これからは「寒い、寒い」と言うようになるのでしょうか。昼間の暖かさと朝・夕の冷え込みとでは大きな気温差があるため、これからは調節できる服装でと朝の天気予報でも言



っています。空気も乾燥気味になっていますから、保湿と保温に心がけてください。



にぎやかに開催！ さっちゃんまつり

前日まで心配された雨も当日の朝には上がり、お日さまが顔をを出してくれました。私と松坂みち子議員のあいさつを皮切りに、南京玉すだれ、ハワイアンフラ、うたごえオールスターズとステージ企画がにぎやかに始まりました。日頃、サークル活動などで練習しているみなさんの協力により、舞台も華やかになりました。

野菜や果物の模擬店の他、スタンディングや街頭宣伝の写真など日本共産党を知ってもらうコーナーも設けました。

お昼すぎからはまつりのメインとも言える餅つき。子どもたちにも杵を持つてついてももらいました。つきたてのお餅はやはり美味しい！きなこ、おろしポン酢、ぜんざいで食べてもらい、あとは持ち帰り用のパックにして販売。すぐに行列ができ、あつという間に完売でした。

まつりに来てくださったみなさん、ステージを盛り上げてくださったみなさん、9月から準備に奮闘してくださいましたみなさん、本当にありがとうございます。これからも、地域の中で役に立てたらと思っています。今後ともよろしくお願いします。

【知事選挙】

11月8日告示、25日投票で知事選挙が始まります。

県は市町村と国をつなぐパイプ役や市町村を応援するという役割もあります。例えば高すぎる国保料、今年から国保の制度が県に一本化されましたが、県が率先して保険料の軽減をしてくれるのかどうか問われています。

また、和歌山にギャンブル場を持ち込むIRカジノは本当に必要でしょうか。私たちの身近な問題を考える機会ともなる知事選挙。ぜひ、投票に行って有権者としての意思を示しましょう。

【無料法律相談】

11月27日(火) 13:30~

12月10日(月) 18:00~

いずれも井辺の森下さち子事務所にて



事前の予約をお願いします。

073-435-1113

(市役所議員控え室 森下まで)



こんにちは！松坂みち子です



始まりました

大好きなフィギュアスケートのシーズンです。なんといっても羽生結弦選手。ケガの復帰の初戦は失敗もありましたが、これから大会ごとに完成度が上がっていくでしょう。宮原知子選手の演技はさらにきれいだし、現役復帰した高橋大輔選手のステップも変わらず魅力的。宇野昌磨選手、坂本香織選手も素敵。本田真凜選手は妹がテレビに出ているため、特別に注目されてプレッシャーがかかっているような。憧れのフィギュアスケート。したくてもできなかった分応援したい。演技の裏付けとなっている選手たちの日々の努力に思いをはせ、元氣と勇氣をもらっています。

県議予定候補 松坂みち子

10/28 女性後援会のつどい

○×ゲームは「チョコちゃんに叱られる」を、奥村規子県議が扮する「ノリちゃんに叱られる」バージョンにアレンジしました。憲法24条の問題、公衆電話の問題、戦車や戦闘機の燃費の問題など、楽しく、かつ、ためになるように編集。私と坂口多美子市議予定候補も「ぴよんぴよんシスターズ」として参加しました。なぜ、「ぴよんぴよんシスターズ」なのかと



いいますと、奥村県議、私、坂口予定候補の3人はともにウサギ年だからなのです。

「さつちゃんまつり」の翌日というハードスケジュールでしたが、迫っている知事選、来年の統一地方選をめざして、女性のパワーでがんばろうという目的で開催しました。

駆けつけてくれた大門みきし参議院議員（写真中央）からは、今始まっている国会報告として、消費税10%増税が、いかに道理のないものなのか、憲法改正が一体誰のためのものかなど詳しく語ってくれました。最後に「女性がにぎやかに楽しく行動する選挙は明るくて元気が出る、女性パワーでがんばってほしい」と激励されました。



中学校給食の署名にとりくんでいます

— 小学校と同様の全員給食へ —

何度も議会で取り上げている、中学校給食。和歌山市はデリバリーという注文方式で家庭弁当との併用になっています。量の調節ができない、冬場に冷たい、当日欲しくても事前注文に限られるなど、様々な意見を多く聞きます。教育委員会は、今のデリバリー方式を検証し、より良い給食をめざすと答えましたが、生徒や保護者の声は切実で、早急な見直しが求められています。

そこで、地域のみなさんの声を届けようと、署名にとりくむことになりました。ご協力をよろしくお願いします。

～安心安全の学校給食の実現に向けて～

あたたかい中学校給食を全員に

学校給食は育ち盛りの中学生にとって重要な役割を持っているだけでなく、食育と言われるように教育の一環でもあります。さらに今、十分に食事がとれていない子どもが少なくないことで、学校給食の役割が増えています。ところが、和歌山市の中学校給食は1ヶ月毎に注文するランチボックス(デリバリー方式)で、利用している生徒は15%です。「温かく、全員に提供する小学校と同様の給食を中学校でも実施してほしい」という生徒や保護者の願いに市は応えるべきではないでしょうか。県下で全員給食を実施していないのは、和歌山市と那智勝浦町のみです。



和歌山市長 尾花正啓 様
和歌山市役所 原一紀 様

和歌山市でも全員が食べる中学校給食を求める要請署名

現在、和歌山市の中学校給食は、選択制デリバリー方式(注文制ランチボックス)となっています。注文は1カ月前からの受付となっており、当日必要になっても対応できない仕組みです。また、業者が調理し配送するため衛生上の問題から、適温配食も難しく、量の調節などもできません。そのため、利用者はわずか15%となっています。学校給食は育ち盛りの児童・生徒に欠かせないものであるだけでなく、貧困対策にも有効です。また、学校給食は食育をはじめ、伝統食・郷土食の伝承など「生きた教材」といわれています。すでに県下では、和歌山市と那智勝浦町を除くすべての市町村で、中学校の全員給食が実施されています。小学校や伏虎義務教育学校(小中一貫校)で実施されている学校給食を中学校でも実施することが必要ではないでしょうか。以上の趣旨により、和歌山市における中学校給食の充実を求めます。

- 【要請項目】
1. 中学校給食を全員給食にしてください。
 2. 小学校との親子方式や自校方式として実施してください。



※親子方式とは小学校で調理して中学校へ配送する方式。

氏名	住所

※氏名、住所の個人情報は市への要請以外には一切使用いたしません。

足りやん
どの子にも温かい分量のある給食を食べさせてほしい
こどもがもうすぐ中学生になるのでお弁当作りは気が重い
美味しくない
働いているので毎日作るのが大変
小学校みたいな給食なら食べたい
デリバリーは注文しにくい

「和歌山市でも全員が食べる中学校給食を求める要請署名」にぜひご協力ください。
連絡先：日本共産党北部地区委員会 和歌山市中之島 1422 TEL 432-6222